

【第4回 厚別南・青葉地区新設義務教育学校検討委員会 議事概要】

■ 開催情報

- 日時：令和8年4月28日(火) 10:00
- 場所：青葉中学校 2階 会議室

■ 主な協議・確認内容

1. 地域への周知活動について（確認事項）

- 地域の方々に義務教育学校への理解を深めてもらうため、お便りの配信・配布や町内会の回覧など様々な方法で周知を行う。
- お便りについては、文字数が多いとわかりにくいと、視覚に訴えたり箇条書きにするなど、シンプルな構成にすることが提案された。

2. 校名決定のプロセスとスケジュール

- スケジュールに余裕が生まれたため、校名の絞り込みに関する話し合いを前回より1回増やして対応することとなった。

3. 児童生徒の意見反映について

- 校名決定のプロセスにおいて、児童生徒の声を積極的に聴き入れる方針が確認された。
- 「さっぽろっ子サミット」パートナー校の話し合いの場を活用し、子どもたち自身に「どのような学校にしたいのか」を考えさせる機会を設ける。
- 子どもの意見集約については、3つ程度に絞って委員会に提示する案や等が出された。
- ただし、子どもの話し合いには準備期間が必要であり、学校行事が多い5・6月は時間の確保が難しいという課題も挙げられた。

4. 校名公募・アンケートの実施方法

- 過去の事例では無制限に募集して膨大な数が集まった反省から、公募時には理由を明記させたり、アンケートで校名を例示・ジャンル（自然環境、学校目標など）を絞ったりする工夫が提案された。
- アンケートの実施時期について、夏休みを挟むと学校側の対応負担が大きくなるため、公募時期を早める（子どもたちが考える時間を確保する）べきとの意見が出た。
- PTAへのアンケートは地域アンケートと同様の扱いでよいとされた。
- 公募の方向性案にある「地域の方に限定」という表現はきつすぎるため、厚別区初の義務教育学校として他の区民が興味を持つことにも配慮すべきとの意見があった。

5. 連絡事項

- 市教委においてアドバイザーの選任が進められており、次回の会議から出席する可能性がある旨が共有された。